

高齢者のエンドオブライフケアと意思決定支援を考える会

地域包括ケアシステムの基盤整備のためには、本人・家族の「在宅で最期を」という心構えが必要です。病院だけでなく、地域や在宅でもアドバンスケアプランニングが注目されています。

この分野の第一人者で、全国でご活躍の平原佐斗司医師、また日頃より医療や介護の問題に取り組んでおられる伊東亜矢子弁護士をお招きし、高齢者のエンド・オブ・ライフにおける意思決定について考えます。

日時 2018年3月17日(土) 14:00~16:30

場所 名古屋市医師会館 (愛知県名古屋市東区葵 1-4-38)

主催 西区医師会

共催 一社)名古屋市医師会 西区在宅医療・介護連携支援センター

助成 公益医療法人 在宅医療助成 勇美記念財団

司会 医療法人 貴友会 あおい在宅診療所 木股貴哉

- 1 14:05~14:15 「西区における高齢者医療の現状と課題」 龍華二郎 氏
(西区医師会長)
- 2 14:15~14:50 「弁護士の立場から」 伊東亜矢子 氏 (三宅坂総合法律事務所)
- 3 14:50~15:00 休憩
- 4 15:00~16:00 「医師の立場から」 平原佐斗司 氏 (東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所)
- 5 16:00~16:25 パネルディスカッション
- 6 16:25~16:30 挨拶 龍華二郎 氏



平原佐斗司 氏



伊東亜矢子 氏